

2024 年 7 月 16 日 第 1 版

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくて実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 整形外科学教室

記

研究の名称	アミロイドーシス関連性手根管症候群の術前画像検査の有用性について
対象	研究開始日から 2028 年 3 月 31 日までの期間に当院整形外科に手根管症候群の手術を受けられる患者さんの超音波、MRI 画像、手術中に採取した腱鞘滑膜と王手根靭帯を研究に利用いたします。本学では、100 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日（2024 年 8 月 27 日） ～ 2029 年 7 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：アミロイドーシスにより心不全を発症する患者さんに手根管症候群を多く発症することが報告されています。また、この手根管症候群は、心不全より約 5 年間先行して発症することが分かっています。</p> <p>そのため、手根管症候群発症時にアミロイドーシスを診断することで早期に治療介入を行い、心不全による死亡率を下げることを期待されていますが、アミロイドーシス関連性手根管症候群と特発性手根管症候群の病態の違いに関しては、現在もはっきりとわかりません。MRI 検査や超音波など術前に鑑別が可能になれば、手術ならびに術中生検が必要な患者を選択することができ、手根管症候群の治療方針をより適切なものに変えることが期待できると考えています。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し、手の超音波画像、術前の MRI 検査、手術中に採取した組織の病理学的検査を合わせて解析を行います。抽出した情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り</p>

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 藤野 圭太郎 殿

研究の名称	アミロイドーシス関連性手根管症候群の術前画像検査の有用性について
-------	----------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）